

札幌市市民まちづくり活動促進基本計画の見直しに係るアンケート調査

【記入方法等】

- ・あてはまる選択肢の番号に○を付けて回答してください。回答を「自由記載」としている質問や数字で回答する質問については、回答欄にご記入ください。
- ・本アンケートは無記名により実施します。回答いただいたアンケート票につきましては、統計的に処理し、個票のまま公表することは一切ございません。また、本調査の用途以外の使用はいたしません。
- ・つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

回答いただいた調査票を返信用封筒に入れ、**令和5年7月14日(金)**までにご返信ください。

※切手の貼り付けは不要です。

【本調査に関するお問合せ先】

株式会社DAZZLING 担当:小柳・長谷山 TEL:011-615-7000

【アンケート実施主体】

札幌市市民文化局市民自治推進室市民活動促進担当課 TEL:011-211-2964

こちらの二次元コードからWEB回答もできます

以下のアンケートは、右の二次元コードからWEBで回答いただくことも可能です。
WEBで回答をいただいた場合は、アンケート調査票の返送は不要です。
ぜひご活用ください。



1 貴団体についてお聞きします。

問1 本アンケートは、下記にあてはまる団体を対象としております。

貴団体があてはまるものを選択してください。(あてはまるものすべてに○)

※いずれにもあてはまらない場合は、恐れ入りますが、本アンケートへの回答は不要です。

1. 札幌市所轄のNPO法人
2. さぼーとほっと基金登録団体
3. 札幌市市民活動サポートセンター登録団体

問2 貴団体の種別について、あてはまるものを選択してください。

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 任意団体 | 4. 労働者協同組合 |
| 2. NPO法人 | 5. 地縁団体(町内会、まちづくり協議会、子ども会、消防団等) |
| 3. 一般社団法人(非営利型) | 6. その他() |

問3 貴団体の活動継続年数(法人格取得前に活動をしている場合は、取得前を含む)について、あてはまるものを選択してください。※令和5年6月1日時点

- | | | | | |
|---------|------------|-------------|-------------|----------|
| 1. 5年未満 | 2. 5～10年未満 | 3. 10～15年未満 | 4. 15～20年未満 | 5. 20年以上 |
|---------|------------|-------------|-------------|----------|

問4 今後5年程度の見通しについて、貴団体のお考えで最も近いものを選択してください。(1つだけ選んで○)

- | |
|-------------------------------|
| 1. スタッフや予算を拡充し、活動規模を大きくしていきたい |
| 2. 現状の活動規模を維持しつつ、内容の充実を図りたい |
| 3. 現状の活動規模・内容を維持したい |
| 4. 活動を継続するが、現状よりも活動規模を縮小したい |
| 5. 解散を検討したい |

問5 貴団体が抱える課題は何ですか？(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------|----------------------------|
| 1. 会員の確保 | 13. サービスや商品の提供先の確保 |
| 2. スタッフの確保 | 14. 事業の開催やイベント等への参加呼びかけ・PR |
| 3. マネージャー(事業のとりまとめ役)の確保 | 15. 備品や機材の確保 |
| 4. 次期リーダーの育成 | 16. 活動場所の確保 |
| 5. 気軽に相談できる人や機関の確保 | 17. デジタル化への対応 |
| 6. 事業や行事の企画能力向上 | 18. 活動報告や団体情報の発信 |
| 7. 団体の運営に関する能力の向上 | 19. 運営や活動に資する情報の取得 |
| 8. 会費・寄付の確保 | 20. 町内会など地域との連携 |
| 9. 助成金・補助金の確保 | 21. 他団体との連携 |
| 10. 助成金等の申請・報告書類の作成スキル | 22. 企業との連携 |
| 11. 助成金等に関する情報取得 | 23. その他() |
| 12. 事業収入の確保 | |

2 貴団体の構成員、役員、スタッフの状況や人材の確保についてお聞きします。

問6 貴団体の構成員(又は会員)の人数について、あてはまるものを選択してください。※令和5年6月1日時点

- | | | | | |
|----------|-----------|-----------|-------------|-----------|
| 1. 10人未満 | 2. 10~49人 | 3. 50~99人 | 4. 100~499人 | 5. 500人以上 |
|----------|-----------|-----------|-------------|-----------|

問7 貴団体の役員や継続的に活動を担うスタッフについて、お聞きします。

① 貴団体の代表者の年代について、あてはまるものを選択してください。 ※令和5年6月1日時点

- | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|
| 1. 10代 | 2. 20代 | 3. 30代 | 4. 40代 | 5. 50代 | 6. 60代 | 7. 70代以上 |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|----------|

② 役員的人数(人数の回答項目あり) ※令和5年6月1日時点

- | | | | | |
|----------------|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 「役員」を置いていない | 2. 1~4人 | 3. 5~9人 | 4. 10~19人 | 5. 20人以上 |
|----------------|---------|---------|-----------|----------|

→ 上記のうち、役員報酬(給与を除く)を受け取っている役員的人数 人

③ 継続的に活動を担うスタッフの実人数(人数の回答項目あり)

上記②の役員がスタッフとして従事している場合は、当該役員もスタッフの人数に含めてご回答ください。 ※令和5年6月1日時点

- | | | | | |
|-------|---------|---------|-----------|----------|
| 1. 0人 | 2. 1~4人 | 3. 5~9人 | 4. 10~19人 | 5. 20人以上 |
|-------|---------|---------|-----------|----------|

→ 上記のうち、給与、謝金等の対価を受け取っているスタッフの人数 人

④ 事業に関わるボランティアの延べ人数(人数の回答項目あり)

※事業を行った場合、1年間で必要となるボランティアの人数を延べ数で記載してください。

1. 0人	2. 1~4人	3. 5~9人	4. 10~19人	5. 20人以上
→ 上記のうち、謝金等の対価を支払う 必要がある有償ボランティアの人数		人		

⑤ 活動の担い手について、最も人数が多い年代を選択してください。 ※令和5年6月1日時点

1. 10代	2. 20代	3. 30代	4. 40代	5. 50代	6. 60代	7. 70代以上
--------	--------	--------	--------	--------	--------	----------

問8 貴団体ではどのような人材を必要としていますか？(3つまで選んで○)

1. 活動に参加するボランティア	
2. 継続的に活動を担ってくれる会員	
3. 法律、会計等の実務に詳しい人材	
4. 事業の企画に関する知識と経験を持った人材	
5. スタッフや関係者を取りまとめることができる人材	
6. 団体や事業の運営に関して助言や相談に応じることができる人材	
7. 団体間や行政との間をつなぐコーディネーター	
8. 大型事業やイベント等で協力してくれる人材	
9. 市民活動に関して幅広い教養を持ち、政策提言(アドボカシー)できる人材	
10. その他()	

問9 貴団体は、どのようなテーマの講座・研修を受講したい(スタッフ等に受講させたい)ですか？

(3つまで選んで○)

1. 会計・税務	8. コーディネーター、ファシリテーター養成
2. 資金調達の方法(寄付の集め方、クラウドファンディング、助成金・補助金など)	9. NPOと企業、行政との協働の方法
3. 組織・ボランティアのマネジメント	10. 市民活動に関する理論と最新の実践
4. スタッフ、有償ボランティアの労務管理	11. コミュニティビジネス、ソーシャルビジネス
5. 法律知識、法務	12. 法人設立の方法
6. デジタル化対応(オンライン会議、WEBによる手続き、テレワークなど)	13. 後継者、次期リーダーの育成、事業承継
7. 広報・情報発信・HP運営・SNS運用	14. その他()

3 貴団体の財務状況、資金調達についてお聞きします。

問10 貴団体の前事業年度の収入額について、あてはまるものを選択してください。

1. 0円	5. 1,000万円超~5,000万円以下
2. 0円超~100万円以下	6. 5,000万円超~1億円以下
3. 100万円超~500万円以下	7. 1億円超
4. 500万円超~1,000万円以下	

問11 貴団体の主な収入又は資金源について、あてはまるものを選択してください。(3つまで選んで○)

1. 会費	6. 企業等からの委託による収入
2. 寄付金	7. クラウドファンディング
3. 助成金・補助金	8. 協賛金
4. 事業収入 ※外部からの委託による収入を除く ※介護保険法・障害者総合支援法・児童福祉法等の給付費を含む	9. 金融機関等からの借入金
5. 行政からの委託、指定管理等による収入	10. 役員等関係者からの借入金
	11. 自己資金
	12. その他()

問12 今後増やしていきたい収入について、あてはまるものを選択してください。(3つまで選んで○)

1. 会費	5. 行政からの委託、指定管理等による収入
2. 寄付金	6. 企業等からの委託による収入
3. 助成金・補助金	7. クラウドファンディング
4. 事業収入 ※外部からの委託による収入を除く ※介護保険法・障害者総合支援法・児童福祉法等の給付費を含む	8. 協賛金
	9. その他()

問13 貴団体における助成金・補助金の活用状況についてお聞きます。

① 貴団体では、令和元年度から現在までに、助成金・補助金を活用したことはありますか？

1. はい	2. いいえ
-------	--------

※「1. はい」を選択した団体は、次の②及び問14の質問にご回答ください。
※「2. いいえ」を選択した場合は、次の②及び問14の回答は不要です。

→② 令和元年度から現在までに活用した助成金・補助金について、あてはまるものを選択してください。
(あてはまるものすべてに○)

1. さぼーとほっと基金
2. さぼーとほっと基金以外の札幌市の助成金・補助金
3. 北海道など札幌市以外の自治体の助成金・補助金
4. 国の助成金・補助金
5. 公益法人・企業等の民間助成金
6. 休眠預金等活用法による助成金

→問14 貴団体が上記の助成金・補助金の交付を受けたことにより得た成果や効果について、あてはまるものを選択してください。(3つまで選んで○)

1. 立ち上げ資金として活用できた
2. 運転資金として団体を維持又は事業を継続することができた
3. 事業の質を向上させることができた
4. 事業の規模を拡大させることができた
5. 行政や他団体・企業との関係を強化することができた
6. 団体の信頼性を向上させることができた
7. 会員や協力者が増加した
8. 団体の知名度が向上した
9. 会員、スタッフのスキルが向上した
10. 組織基盤を強化することができた
11. その他()

4 貴団体が必要とする情報についてお聞きします。

問15 貴団体では、どのような情報を必要としていますか？(3つまで選んで○)

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1. 会計・税務に関する情報 | 8. デジタル化対応に関する情報 |
| 2. 資金調達の方法に関する情報 | 9. 団体の運営や事業の実施に関しての助言・相談先の情報 |
| 3. 行政・民間の助成金等に関する情報 | 10. 他の市民活動団体の概要や事業に関する情報 |
| 4. 委託事業の募集等、行政との協働に関する情報 | 11. 市民活動の先進事例の情報 |
| 5. 行政による各種支援策、制度に関する情報 | 12. 各種活動の場に関する情報 |
| 6. 活動に参加するボランティア、スタッフのマネジメントに関する情報 | 13. その他() |
| 7. 労務・法務に関する情報 | |

問16 貴団体では問15のような情報を主にどのように入手していますか？(3つまで選んで○)

- | | |
|-------------------------------------|----------------------------------|
| 1. 札幌市ホームページ | 9. NPOの中間支援組織のホームページ |
| 2. 広報さっぽろ | 10. NPOの中間支援組織のメールマガジン、メーリングリスト |
| 3. さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぼ」 | 11. NPOの中間支援組織、その他団体の会報、広報誌 |
| 4. 札幌市市民活動サポートセンターのホームページ | 12. SNS(フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなど) |
| 5. 札幌市市民活動サポートセンター広報誌「みんなのしみサポ」 | 13. 新聞 |
| 6. 札幌市市民活動サポートセンターメールマガジン「しみさぼメルマガ」 | 14. テレビ |
| 7. 内閣府NPOホームページ | 15. パンフレット・チラシ |
| 8. 北海道市民活動団体情報提供システム | 16. ほかの市民活動団体からの情報提供 |
| | 17. 特に入手していない |
| | 18. その他() |

問17 貴団体ではどのような方法で団体の情報を発信していますか？(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--|---|
| 1. 貴団体のホームページ、ブログ、SNS(フェイスブック、インスタグラム、ツイッターなど) | 7. 内閣府NPOホームページ内「NPO法人ポータルサイト」法人入力情報欄への掲載(※NPO法人のみ) |
| 2. 貴団体のメールマガジン、メーリングリスト | 8. NPOの中間支援組織のメーリングリストへの投稿 |
| 3. 広報誌、会報の発行 | 9. NPOの中間支援組織、その他団体の会報、広報誌等への掲載 |
| 4. パンフレット、チラシの作成・配布 | 10. 新聞社、テレビ局への働きかけ、PR |
| 5. さっぽろまちづくり活動情報サポートサイト「まちさぼ」への掲載 | 11. 情報発信を行っていない |
| 6. 北海道市民活動団体情報提供システムへの掲載 | 12. その他() |

問18 貴団体におけるデジタル、オンラインツールの利用状況について、あてはまるものを選択してください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 事務連絡等について、電子メール、コミュニケーションアプリ(LINE、SNSのダイレクトメッセージなど)を利用している |
| 2. 書類作成において文書作成ソフトや表計算ソフトを使用している |
| 3. 会計・経理事務等において、会計ソフトやアプリを使用している |
| 4. 会議や打ち合わせ、又は事業においてWEB会議システム(Zoom、Skypeなど)を利用している |
| 5. テレワークを導入している |
| 6. GビズID*を取得している |
| 7. 上記のいずれも使用していない |

※「GビズID」とは、1つのアカウントで複数の行政サービスにアクセスできる認証システムです。

↳③ 貴団体では、他団体や企業等と連携又は協働によりどのような成果がありましたか？(自由記載)

問22 貴団体は、今後どのようなことに期待して、他団体や企業等と連携又は協働しようと考えますか？
(自由記載)

7 貴団体における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響についてお聞きします。

問23 感染拡大により貴団体が受けた影響について、具体的に教えてください。(自由記載)

※参考例

- ・会員・スタッフの確保が困難になった
- ・会費・事業収益・参加者・利用者等の減少が回復しない
- ・コロナ禍で活動を中止したが、〇〇の要因により活動再開ができない
- ・感染対策やオンライン対応などにより増加した〇〇に関する経費が固定化した
- ・オンラインツールの利用により打ち合わせがしやすくなった
- ・オンラインツールの利用が定着したことにより、遠方など新たなつながりや参加者の増加など活動の幅が広がった など

8 その他、ご意見等がありましたら記載してください。

～これでアンケートは終了です。ご協力いただき誠にありがとうございました。～